



「同じ視線で、  
そっと寄り添う」

独占取材

普段あまり知ることのできない保育所の日常。今回広報取材でお伺いしたのは第三保育所。今年度新たに採用された齋藤真奈先生（以下、「真奈先生」と、真奈先生が担任する3・4・5歳児クラスの子どもたちの1日に密着しました。

Interview

第三保育所 保育士（新規採用） 齋藤 真奈 先生

私は、自分が園児だった頃の保育園の先生にすごく憧れていました。手紙を書くと返事をくれて、不安なときは膝に乗せてお母さんのように寄り添ってくれた優しい先生です。自分もそのような先生になりたいと思ったのがきっかけで保育士を目指しました。

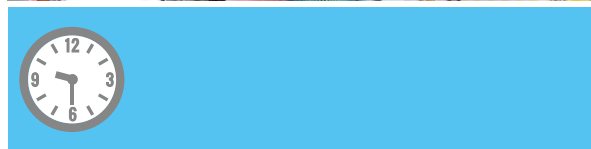
日々でやりがいを感じることは、子どもたちが「いろいろな表情」を見せてくれたり、できなかったことができるようになった

ときです。一番近くでその成長が見られて、子どもたちや保護者の皆さんと気持ちを共有できることは本当に素晴らしいことです。また、一人一人の成長だけでなく、クラス全体の成長やまとまりを感じることもやりがいの一つです。

これからも、何事にも子どもたちと一緒に全力で取り組み、保護者の皆さんや先輩先生方に安心して仕事を任せてもらえるよう、毎日「元気」に頑張りたいです。

「フレッシュ、笑顔、元気、全力」





みんなで挨拶を行い、呼名。日付や天気、日直当番、今日の予定などを確認します。

**POINT**

説明には分かりやすくイラストを使用  
手を挙げ、前に出てクイズを出してもら  
うなど、子どもの自主性を育みます。



**POINT**

先生は必ず笑顔で明るくお出迎え  
入室前に必ずアルコール消毒(コロナ対策等の徹底)  
まずは、自分でおたより帳に出席のスタンプを押印



を  
します)

朝の会からはもうエンジン全開。年齢別活動ではそれぞれが楽しく元気に活動します。ここでは、活動の合間の水分補給や汗をかいた子の着替えを指導していました。

認 朝の会からもうエンジン全開。年齢別活動ではそれぞれが楽しく元気に活動します。ここでは、活動の合間の水分補給や汗をかいた子の着替えを指導していました。



10時

3分)